



外の中の目

Junge Stadt Voller Positiver Überraschungen

若く勢いのある下野市へ

ドイツ ヘッセン州 ディーツヘルツタール市長 トーマス・アンドレアス



ディーツヘルツタール市
アンドレアス市長に伺い
ました。

Andreas Thomas



今年の春に、私は初めて下野市を訪問することになりました。イベントの招待状は下野市の市制10周年記念式典、新庁舎内覧会並びにディーツヘルツタール市との姉妹都市締結40周年を祝うものでした。短い滞在期間でしたが、市内見学することができました。若手農家を視察した際には、アスパラガスやいちごを丹精込めて栽培しており、農産物を販売するだけでなく、農産物を加工や調理をして販路の拡大に努めているところに感動しました！「道の駅しもつけ」では地元農家や地域の生産者の農産物を販売する直売所を併設し、多くのお客で賑わっていて、活気があることに友人としてよろこびを感じました。新規就農者や農業を受け継ぐ若者にとっても魅力的なことです。

さらに、市内には自治医科大学附属病院をはじめ、多くの病

院が立地していることから、医療環境はとても恵まれていると感じました。

そして、とても印象深いのは、下野市役所の新庁舎でした。私は市庁舎建設の成功を心から祝福いたしました。庁舎を見た印象と使った素材や色づかいは外観内観ともによく、下野市のみなさんが市庁舎をとて気に入り、大切にしてくれるものと強く思いました。

広瀬寿雄市長をはじめ下野市のみなさま、下野市国際交流協会会員のみなさま、下野市国際交流員のマシアス・ブリッタスドーフのおかげで、若く勢いのある感動に満ちた下野市を知ることができました。今後も下野市とディーツヘルツタールの姉妹都市交流がますます発展することを願っています。

らいさまNEWS

編集会議の場を新庁舎に移動しての最初の「らいさま」となりました。

気軽にご参加いただける市国際交流協会主催事業を紹介します。来年1月にティーパーティー(茶話会)を、2月は日本語教室に通う生徒のみなさんが日本語スピーチに挑戦します。詳しくは、広報に掲載しますので楽しみにお待ちください。どなたでも入場できます。

編集後記

取材を進めていく中で、交流事業には人それぞれの得意分野を活用していくことと、橋渡しをする人の存在が重要なこと、それには信頼関係を日常から築いていくことが大切だと感じました。(編集委員 MO)

【表紙】ドイツ・ヘッセン州マールブルク市：グリム童話の作家 グリム兄弟が学生時代過ごしたまち

企画・編集 下野市自治基本条例情報紙編集委員会(岡田雅代、鈴木祐孝、諏訪守、近藤令兒、黒須重光)

発行 下野市市民協働推進課(栃木県下野市笹原26番地) TEL 0285-32-8887 FAX 0285-32-8606 E-mail :shiminkyoudousuishin@city.shimotsuke.lg.jp



情報誌 らいさま

有料広告募集中!!

規格は市広報に準じます。